

1. 略歴

- 1982年3月 東京大学文学部考古学専修課程卒業
1982年4月 財団法人東京都埋蔵文化財センター調査員
1988年4月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程入学
1991年3月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻修士課程修了
1991年4月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻博士後期課程入学
1994年3月 法政大学大学院人文科学研究科日本史学専攻博士後期課程修了、博士(文学)取得
1994年4月 財団法人東京都埋蔵文化財センター副主任調査研究員
1997年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
1997年5月 東京大学文学部附属北海文化研究常呂実習施設助教授
1999年4月 東京大学大学院新領域創成科学研究科助教授
2003年4月 東京大学大学院人文社会系研究科助教授
(新領域創成科学研究科助教授併任、2004年3月まで)
2007年4月 東京大学大学院人文社会系研究科教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

先史考古学、民族考古学、人類環境史

b 研究課題

- (1)日本列島および東アジアの旧石器時代における石器技術論、行動論、遺跡形成論、石材論的研究。
(2)生業・居住形態等に関する民族考古学的研究。
(3)民俗知の環境論的研究。

c 概要と自己評価

上記の研究課題(1)に基づき実施した、科研費基盤研究(A)「黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容」(平成21~25年度)の成果をまとめた『考古学ジャーナル』特集号を刊行した。また共編著『The Emergence and Diversity of Modern Human Behaviors in Paleolithic Asia』により、アジアにおける現生人類出現に関する最新の考古学研究をまとめた。また研究課題(2)(3)については、東北芸術工科大学と共同研究を実施した。いずれも当初の研究計画をおおむね遂行できたと考えている。

d 主要業績

(1) 著書

- 編著、佐藤宏之編、『黒曜石原産地遺跡の研究(『考古学ジャーナル』659号)』、ニュー・サイエンス社、2014.8
編著、Kaifu, Y. Izuho, M. Geobel, T. Sato, H. Ono, A.共編著、『The Emergence and Diversity of Modern Human Behaviors in Paleolithic Asia』、Texas M & A University Press、2015.2
編著、佐藤宏之編、『旧石器〜縄文移行期を考える(『季刊考古学』132号)』、雄山閣出版、2015.8

(2) 論文

- Sato, H., and Yamada, S., 「Intrasite variability of Oshorokko microblade industry in Yoshiizawa site in Hokkaido, northern Japan」、
『Topical issues of the Asian Paleolithic, edited by A.P. Derevianko and N.I. Dorozdov』、153-158 頁、2014
佐藤宏之・役重みゆき、「北海道の後期旧石器時代における黒曜石産地の開発と黒曜石の流通」、佐藤宏之・出穂雅実
編『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(II)』[東京大学常呂実
習施設研究報告第12集、平成21~25年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)研究成果報告書]、123-
156 頁、2014.3
Miyuki Yakushige and Hiroyuki Sato, 「Shirataki obsidian exploitation and circulation in prehistoric northern Japan」、『Journal of
Lithic Studies』、1(1)、319-342 頁、2014.4
Izuho, M., J.R. Ferguson, M.D. Glascock, N. Oda, F. Akai, Y. Nakazawa, H. Sato, 「Integration of obsidian compositional studies
and lithic reduction sequence analysis at the Upper Paleolithic site of Ogachi-Kato 2, Hokkaido, Japan」、『Methodological Issues
for Characterisation and Provenance Studies of Obsidian in Northeast Asia. British Archaeological Report, International Series
2620, edited by A. Ono, M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin, and Y. Suda』、125-142 頁、2014.4

- Ferguson, J., M. Glascock, M. Izuho, M. Mukai, Wada, K. and H. Sato, 「Multi-method characterization of obsidian source compositional groups in Hokkaido Island (Japan)」、『Methodological Issues for Characterisation and Provenance Studies of Obsidian in Northeast Asia. British Archaeological Report, International Series 2620, edited by A. Ono, M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin, and Y. Suda』、13-32 頁、2014.4
- Wada, K., M. Mukai, K. Sano, M. Izuho and H. Sato, 「Chemical composition of obsidians in Hokkaido Island, northern Japan: the importance of geological and petrological data for source studies」、『Methodological Issues for Characterisation and Provenance Studies of Obsidian in Northeast Asia. British Archaeological Report, International Series 2620, edited by A. Ono, M. D. Glascock, Y. V. Kuzmin, and Y. Suda』、67-84 頁、2014.4
- 佐藤宏之、「狩猟具と施設」、今村啓爾・泉拓良編『講座日本の考古学 第4巻 縄文時代(下)』、36-53 頁、2014.5
- 佐藤宏之、「大学との地域連携と「北の異界展」」、菊池徹夫・宇田川洋編『オホーツク海沿岸の遺跡とアイヌ文化』、235-242 頁、2014.7
- 佐藤宏之、「北東アジアの歴史の中で」、菊池徹夫・宇田川洋編『オホーツク海沿岸の遺跡とアイヌ文化』、266-275 頁、2014.7
- 佐藤宏之、「総論: 黒曜石原産地遺跡研究の地平」、『考古学ジャーナル』、659 号、3-5 頁、2014.8
- Kazuki Morisaki and Hiroyuki Sato, 「Early Holocene human adaptation to abrupt palaeoenvironmental change in the Russian Far East: for international comparative study」、『The Dolní Věstonice Studies』、20、143-147 頁、2014.8
- Kazuki Morisaki and Hiroyuki Sato, 「Lithic technological and human behavioral diversity before and during the Late Glacial: A Japanese case study」、『Quaternary International』、347、200-210 頁、2014.10
- Hiroyuki Sato, 「Did the Japanese obsidian reach the Continental Russian Far East in Upper Paleolithic?」、『Aeolian Scripts: New Ideas on the Lithic World Studies in Honour of Viola T. Dobosi, edited by T. Biró Katalin, M. András and P. Katalin Bajnok』、77-91 頁、2014.11
- 佐藤宏之、「考古学から見た死と儀礼」、秋山聡・野崎敏編『死者との対話』人文知第2巻、93-107 頁、2014.11
- Hiroyuki Sato, 「Trap-pit hunting in Late Pleistocene Japan」、『The Emergence and Diversity of Modern Human Behaviors in Paleolithic Asia, edited by Kaifu, Y. Izuho, M. Geobel, T. Sato, H. Ono, A.』、389-405 頁、2015.2
- 福田正宏・グリシェンコ V.・ワシレフスキー A.・大貫静夫・熊木俊朗・國木田大・森先一貴・佐藤宏之・モジャエフ A.・パシエンツェフ P.・ペレグドフ A.・役重みゆき・夏木大吾・高鹿哲大、「サハリン新石器時代前期スラブナヤ5遺跡の発掘調査報告」、『東京大学考古学研究室紀要』、29 号、121-146 頁、2015.3
- 佐藤宏之、「北海道の石刃鎌石器群と石刃鎌文化」、福田正宏編『日本列島北辺域における新石器縄文化のプロセスに関する考古学的研究: 湧別市川遺跡の研究』、102-110 頁、2015.3
- Morisaki, K., Izuho, M. Terry, K. and Sato, H., 「Lithics and climate: technological responses to landscape changes in Upper Paleolithic northern Japan」、『Antiquity』、89(345)、554-572 頁、2015.6
- 佐藤宏之、「総論: 旧石器から縄文へ」、『季刊考古学』、132 号、14-17 頁、2015.8
- Morisaki, K. and Sato, H., 「Hunter-gatherer responses to abrupt environmental change from the terminal Pleistocene to the early Holocene in the Lower Amur region」、『Forgotten Times and Spaces: New Perspectives in Paleoanthropological, Paleoethnological and archaeological studies. edited by S. Sázelová, M. Novák and A. Mizerová』、418-434(reference 549-598) 頁、2015.10
- (3) 書評
- 関俊彦、『カリフォルニア先住民の文化』、六一書房 HP 『書評』欄、2015.10
- (4) 学会発表
- 国内、佐藤宏之・山田哲・夏木大吾・役重みゆき・尾田識好・高鹿哲大、「北海道北見市吉井沢遺跡の発掘調査」、第15回北アジア調査研究報告会、札幌学院大学、2014.3.1
- 国際、Sato, H., H. Hagiwara and K. Shiozuka, 「The lithic assemblages of the Iriguchi Site, Nagasaki Prefecture, northern Kyushu」、6th World Congress of SEAA in Ulaanbaatar, Mongolia, National University of Mongolia、2014.6.8
- 国際、Hiroyuki Sato, 「Comment: Recent researches on the Japanese Early Palaeolithic.」、6th World Congress of SEAA in Ulaanbaatar, Mongolia, National University of Mongolia、2014.6.8
- 国内、佐藤宏之、「列島の陥し穴研究の現状」、東北芸術工科大学東北文化研究センター私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「環境動態を視点とした地域社会と集落形成に関する総合的研究」考古班研究集会、是川縄文館、2014.6.15
- 国内、佐藤宏之、「北海道の後期旧石器時代における黒曜石産地の開発と黒曜石の流通」、第12回日本旧石器学会総会、小平市・ルネ小平、2014.6.21

- 国際、Kazuki Morisaki, Hiroyuki Sato, 「Early Holocene human adaptation to the abrupt palaeoenvironmental change in the Russian Far East; for international comparative study」、Mikulov Anthropological Meeting、Mikulov Castle, Czech Republic、2014.8.29
- 国際、Hiroyuki Sato, 「Obsidian procurement and circulation in the Upper Paleolithic Hokkaido」、7th International Symposium of the Asian Palaeolithic Association、韓国公州市、2014.11.14
- 国際、Izuho, M., J.R.Ferguson, M.D.Glascock, N.Oda, F. Akai, Y.Nakazawa, H.Sato, 「Integration of obsidian compositional studies and lithic reduction sequence analysis at the Upper Paleolithic site of Kamihoronai-Moi, Hokkaido (Japan)」、7th International Symposium of the Asian Palaeolithic Association、韓国公州市、2014.11.14
- 国際、Daigo Netsuki, Hiroyuki Sato, Satoru Yamada, 「Intra-site spatial organization of the Yoshiizawa Site」、7th International Symposium of the Asian Palaeolithic Association、韓国公州市、2014.11.14
- 国内、福田正宏・グリシェンコ, V.・ワシレフスキー, A.A.・大貫静夫・佐藤宏之・熊木俊朗・國木田大・ペレグドフ, A.・内田和典・森先一貴・役重みゆき・夏木大吾・山下優介, 「サハリン中部アドティモボ遺跡群の考古学的調査(2014年度)」、第16回北アジア調査研究報告会、東京大学、2015.2.22
- 国内、佐藤宏之, 「日本列島の陥し穴猟—世界最古の罾猟と定着的生業システム—」、日本考古学協会第81回総会、帝京大学、2015.5.24
- 国内、夏木大吾・佐藤宏之・山田哲, 「炉周辺の人間活動と遺跡構造の関係性—北海道北見市吉井沢遺跡の事例より—」、北海道旧石器文化研究会、北海道大学、2015.6.27
- 国際、Hiroyuki Sato, 「Human behavioral responses to environmental condition and the emergence of the world's oldest pottery in Northeast Asia」、第19回国際第四紀学連合名古屋大会、名古屋国際会議場、2015.7.28
- 国内、佐藤宏之, 「日本列島の陥し穴猟: 世界最古の罾猟」、第69回日本人類学会大会シンポジウム「日本列島における後期旧石器時代研究の最前線」、産業総合技術研究所臨海副都心センター、2015.10.11
- 国際、Daigo Netsuke, Hiroyuki Sato, 「Invisible hearths and restoring human behavior: high resolution archaeological analysis at the Yoshiizawa Site of Northern Japan」、20th International Symposium (Part 2): Suyangae and Her Neighbours in Korea、韓国忠州市、2015.11.3
- 国内、福田正宏・Grischenko V.A.・大貫静夫・Vasilevski A.A.・佐藤宏之・熊木俊朗・國木田大・Gorshkov M.V.・Shipovalov A.M.・Gabrilchuk M.A.・森先一貴・内田和典・夏木大吾・Shevkomud I.Ya, 「環日本海北回廊の考古学的研究—到達点と今後の課題—」、日本シベリア学会第1回研究大会、北海道大学、2015.11.22
- 国内、佐藤宏之, 「遊牧社会形成前史としてのユーラシア東部地域の旧石器社会」、中央アジア考古学研究会セミナー「キルギスとその周辺地域における遊牧社会の形成」、上野・黒田記念館、2016.2.6
- 国内、夏木大吾・山田哲・中村雄紀・廣松滉一・吉留頌平・木ノ内忍・小澤太一・佐藤宏之・熊木俊朗・尾田誠好・ナタリア・ツィデノバ, 「吉井沢遺跡2015年度調査の成果」、第17回北アジア調査研究報告会、石川県立博物館、2016.2.27
- (5) 総説・総合報告
- 佐藤宏之, 「序」、『環日本海北回廊の考古学的研究(I): ヤミフタ1遺跡発掘調査報告書(平成23~27年度日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A) 研究成果中間報告書、東京大学常呂実習施設研究報告第11集)』、1頁、2014.3
- 佐藤宏之・出穂雅実, 「I. 研究の目的と概要」、『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(II)[東京大学常呂実習施設研究報告第12集、平成21~25年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書]』、4-11頁、2014.3
- 佐藤宏之・出穂雅実, 「IV. 総括」、『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(II)[東京大学常呂実習施設研究報告第12集、平成21~25年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書]』、208-214頁、2014.3
- 佐藤宏之・山田哲, 「IV-B. 展望と課題」、『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(III)[東京大学常呂実習施設研究報告第13集、平成21~25年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書]』、287-288頁、2014.3
- 佐藤宏之, 「IV-C. 結語」、『黒曜石の流通と消費からみた環日本海北部地域における更新世人類社会の形成と変容(III)[東京大学常呂実習施設研究報告第13集、平成21~25年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(A)研究成果報告書]』、288-290頁、2014.3
- (6) マスコミ
- 「研究室散歩: 考古学研究室」、『東京大学新聞』、2014.10.14

(7) 研究テーマ

文部科学省科学研究費補助金、基盤研究 B、佐藤宏之、Hiroyuki Sato、研究代表者、「現生人類文化の出現と拡散に果たしたアジア南回りルートの意義に関する考古学的研究」、「Archaeological Research on the role of the emergence and diffusion of modern human in the Asian southern route」、2015～

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

特別講演、平成 26 年度是川縄文館考古学講座、「クイーン・シャーロット諸島の民族考古学—北米北西海岸ハイダ族の世界と環境」、2014.7

その他、平成 26 年度日本旧石器学会普及講演会、「日本列島の旧石器時代」、2014.10

特別講演、2014 年度第 2 回法政考古学会講演会、「北海道の後期旧石器時代における黒曜石の利用」、2014.11

非常勤講師、九州大学文学部/大学院比較文化研究院、「考古学講義 X V/東アジア比較考古学研究 III」、2015～

その他、放送大学、「考古学」、2015～

特別講演、平成 26 年度東京都遺跡調査・研究発表会、「鈴木遺跡と日本の旧石器時代研究」、2015.2

セミナー、朝日カルチャーセンター横浜教室「日本考古史 10 講」、「新しい旧石器時代像」、2015.7

(2) 学会

国内、日本考古学協会、理事(総務担当)、2014.5～2016.5

国内、日本旧石器学会、会長、2014.6～2016.3、APA 第 8 回日本大会実行委員会プログラム委員、2015.6～2016.3

国内、日本第四紀学会、名誉会員候補者選考委員会、2016.1～2016.3